

# Counseling Room

家庭問題カウンセリングルーム

第141回

公益社団法人  
家庭問題情報センター

はら ちえこ  
原 千枝子

## 離婚以外の選択肢を求めて

三十代前半の冬美（仮名）さんは、派遣社員として働き、同い年の会社員の夫と四歳と三歳の二人の女の子との四人で生活しています。半年ほど前から夫婦の会話がなく、長女が原因不明の腹痛を起こし保育園の登園も渋るようになり、冬美さんが通院している心療内科でも夫婦関係が影響しているのではないかと指摘され悩んでいます。

**カ（カウンセラー）** 心療内科にはいつ

ごろから通っていらっしやるの？

**冬（冬美）** 二年前位ですね。下の子の育休明けの時期に具合が悪くなり、正社員を辞めました。投薬治療を受け改善して、一年前から派遣社員ですが、フルタイムで働いています。

**カ** 上のお子さんの様子はいかがですか？

**冬** 特に病気ではないので、すごく痛がる時に座薬を使う程度です。もともと過敏な子で私が悲しい顔をしたり、夫から大きい声で何か言われたりすると泣いてしまうのです。このごろ登園を渋ることがあって、何とかしなければ

いけないと思って悩んでいます。

**カ** 何とかしなければ……？

**冬** 離婚か、別居か。今の状況を変えなければいけないと考えています。

**カ** 今の状況とは？

**冬** 夫は、子どもとは普通に接していますが、私とは必要最低限の会話しかせず、無意識だと思えますが、目を合わせようとしません。夫を信頼できなくなっています。

**カ** 信頼できないということ？

**冬** 外泊はないのですが、頻繁に飲み会に行っては遅く帰宅していることもあり、会社の女性との不倫を疑っていま

す。年賀状の仕分けをしていて、ピン

と来たのです。妻の勤ですね。興信所を使うことも考えましたが、お金もないし、不倫を暴くのがいいのかどうかも迷っているのです。

**カ** 暴いたら離婚になってしまう？

**冬** そうです。子どももいるし、何とかしたいという気持ちですね。ただ、結婚前から長く付き合っていたのに、ここに来て価値観の違いを感じることもあって……。

**カ** 価値観の違い、具体的には？

**冬** 育った環境の違いでしょうか。私は下町の、困ったときは皆で助け合い、

何かしてもらったら必ずお礼を言ったり、ちょっとしたお返しをしたりという環境で育ってきました。

彼は、郊外の核家族で親戚づきあひもあまりなく、私の親からいろいろしてもらってもあっさりしているのです。逆に「お前の親はやりすぎでおかしい」とか言ったりして、馬鹿にしているような気がします。

**カ** あなたの実家には日常的にいろいろお世話になっているのですか？

**冬** そうですね。前の家の家賃が高かったので、たまたま空き家になった父の貸家を安く貸してくれたたり、中古ですが、車を買ってくれたりしています。家が近いので時々、保育園のお迎えを頼んだり、長女が登園を渋ったりしたときには預けたりしています。

**カ** 日常的に助けてくださっているのね。そうですね。だから彼には、もっと感謝を言葉にしてほしいのです。私の親は、今のところ黙って見守ってくれています。彼のことをあまりよく思っていないので、相談すれば、きっと離婚の方向に話が行ってしまうでしょう。

**カ** 彼としては、どうなのでしょうね？  
**冬** 彼にしてみると負担なのかもしれないですね。彼の親は何もしてくれませんか。

**カ** あなたは、実家と彼との板挟み？

**冬** 心配してくれる親に申し訳ないという気持ちになります。でも彼の気持ちもわからなくはないのです。

**カ** 彼にその気持ちを伝えたことは？

**冬** そういう会話をする機会もないし、彼が何を考えているかわからなくて。それに聞くことが何か怖い感じもするのです。

**カ** 怖い？

**冬** 話したら、一気に離婚っていう方向に行ってしまうような気もして。でも……。

**カ** そういうあなたの気持ちをお子さんは敏感に察して具合が悪くなってしまうのかしら？

**冬** そうですね。子どもなりに心配してくれているのだと思います。申し訳ないです。

**カ** 今、あなたが一番望んでいることは？

**冬** 彼の気持ちを知りたい。私や子ども

のことをどう考えているか知りたいのです。たとえ不倫していても、私をきちんと見てくれるなら、許したいのです。そして、家族としてやり直したいと思います。

**カ** それならば、一つの方法として、家裁の夫婦関係調整（円満）調停の利用があります。あなたの気持ちを伝え、彼が夫婦や子どものことをどう考えているのか、聞く機会になるでしょう。夫婦関係を見直し、やり直す方法を模索することができるかもしれません。ただ、調停を申し立てたことで、逆に彼から離婚を求められる可能性もあります。覚悟が必要です。

**冬** 迷いを吹っ切り、今の状況から脱するためにはそれしかないと思います。何もせずに後悔したくありません。

……  
冬美さんは、調停の申立てを決意されました。果たしてこれからどういう選択肢が彼女を待ち受けているか、悔いのない道を選ぶことを祈りつつ送り出しました。

